

令和7年度 江戸川区立東葛西小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○やさしい子（思いやりの心を大切に生活する子を育てる） ○やりぬく子（責任をもって最後まで取り組む子を育てる） ○げんきな子（健康安全に勤め明るく行動する子を育てる）	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○子供の笑顔が輝きあふれる楽しい学校 ○教職員が教えることの喜びに満ちた学校 ○保護者、地域から信頼され愛される学校 ○確かな学力 ○豊かな人間性 ○健やかな身体 ○児童理解、授業改善、生活指導の充実を図り、自己研鑽をしながら学校組織の一員としてよりよく協働する教師
前年度までの本校の現状	成果 学力向上については、基礎学力の定着を目指して「かけ算検定」「100マス検定」「漢字検定」「読書推進カード」に全校で取り組んだ。体力向上については、区教育課題実践推進校として研究を進め、児童の休み時間の運動啓発を大きく推進することができた。	課題 学力向上の取組としては読書活動の推進に課題が残った。また、児童一人一人の苦手分野の克服として放課後補習等で対応しているが、自分の考えを書いたり表現したりすることが苦手な児童が多く、日々の学習で補う必要がある。不登校児童については丁寧に児童理解を進めてきたが、3名の児童が不安定な状況である。学年が進級し、新たな担任・友達とのかかわりの中で登校できるよう、スクールソーシャルワーカー等の関係諸機関と更に連携を深めながら進めていきたい。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○学力の向上	・年3回の家庭学習キャンペーンの実施 ・学力定着度調査 ・全国、区学力テスト	・90%の児童の定着 ・各学年のAB層を55%以上に向上	78%	86% 37%	B	・家庭学習キャンペーンについては、9月の時点で78%であった。年3回あるので、年度末には90%を目指したい。	B	・家庭学習は継続して取組をしてほしい。 ・現在の取組を継続してほしい。	B	・家庭学習キャンペーンについて、学校全体では87%の定着だった。また、各学年のAB層は昨年度に比べ増加しているが、目標には届かなかった。	A	・年間を通してみると、家庭学習の定着が向上している。次年度も引き続き行ってほしい。	・各担任の温度差がないように、学年で共通理解を図る。
	○基礎・基本的な学習の充実	・全校一斉朝学習の実施 ・基礎学力向上の取組	・学期末漢字テストで80%の児童が合格 ・かけ算検定で95%の児童が合格	46% 47%	67% 72%	B	・9月の時点での漢字テストやかけ算検定は目標まで到達しなかった。引き続き指導を続け、年度末には近づけていく。	B	・漢字やかけ算の定着に向けて引き続き継続して取組を行ってほしい。	B	・学期末の漢字テストは各学年とも9月時点よりは向上した。 ・かけ算検定では、最後まで諦めずに定着を図った。	A	・漢字の定着をがんばってほしい。 ・かけ算は引き続きお願いしたい。	・漢字の定着が学年によって差があるため、学年で統一した取組を行う。
	○読書科の更なる充実	・図書ボランティアの読み聞かせ活動 ・読書カードの取組推進	・年26回全学年実施 ・各学年で50%が年間目標を達成	100% 46%	100% 7%	B	・図書ボランティアは全学年で実施し、読書に対する興味・関心はあるが、カードへの記入に課題があるので、改善が必要。	B	・ボランティアの読み聞かせは充実しているようである。 ・読書記録の工夫をしたらどうか。	B	・図書ボランティアによる読み聞かせは計画通り行えた。 ・低学年の達成率が9月より向上することができた。	A	・読み聞かせは児童が楽しみにしているようなので、継続してほしい。 ・記入方法を検討して、続けてほしい。	・図書ボランティアは、児童が楽しみにしているため、継続をお願いしていく。
体力の向上	○体づくり運動への取組	・体育授業の指導法改善 ・全校での体育的活動の推進	・体を動かすことが楽しいと感じる児童を85%以上とする	85%	90%	B	・体を動かすかことを楽しいと感じる児童は85%で目標を達成している。体育授業の指導方法の改善などでより向上を図る。	B	・外に出て遊ぶ児童が多いのは良いことである。引き続き取り組んでほしい。	A	・達成率は90%となり目標を達成した。授業改善の成果が見られ、今後も個人差に配慮しながら取組を継続する。	A	・子供たちが楽しく体が動かせるように促して行ってほしい。	・今年度の取組を見直して、改善を図っていく。
	○休み時間を利用した体力向上	・校庭遊具を利用した体力向上カードの取組を推進	・8種目中全員が1つ以上の種目を達成	55%	95%	C	・取組は進んでいるが、達成は55%にとどまっている。多様な運動への参加を促していく。	C	・引き続き取組を工夫して行ってほしい。	A	・達成率95%となり、休み時間に主体的に運動する児童が増えた。継続的な取組の成果が見られる。	A	・次年度も継続して行ってほしい。	・今年度の取組を見直して、児童が達成できるように改善する。
	○「なわとびウイーク」の実施	・マラソンとび、長縄などを年3回全校的に取り組む。	・各学年の目標を超える児童を50% ・長縄の学年目標をすべての学級で達成	15%	28% 72%	C	・意欲的に取り組む児童はみられるが、達成率が低く、技能面で差が見られる。段階的支援を行っていく。	B	・児童の意欲は高いようであるため、継続してほしい。	B	・技能差はみられるものの継続的な取組の成果が見られる。長縄は、取組を通して記録の向上が見られ、達成率72%まで向上した。	A	・学年で取り組むことは意欲向上につながると思うので、続けてほしい。 ・長縄の取組は学級の結束力が高まり、よいと思う。	・目標値や取組等を見直し、継続をしていく。
共生社会の育の実現に向けた教	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・特別支援教室の教員と連携し、児童の共通理解を図る。	・年3回は担任と巡回教員との面談を行う	100%	100%	A	・毎週2回は、担任と巡回教員と短時間の面談を行い、共通理解を図っている。	A	・引き続き取組を行ってほしい。	A	・毎週2回は、担任と巡回教員と短時間の面談を行い、共通理解を図っている。	A	・次年度も継続して行ってほしい。	・次年度も継続していく。
	○エンカレッジルームの活用促進	・全教員が協力して、エンカレッジを担当し、利用しやすい環境にする	・全教員が支援を必要とする児童への理解を共有する	100%	100%	A	・全教員体制で、エンカレッジに来る児童の担当を行い、児童一人一人に寄り添った指導を行っている。	A	・引き続き取組を行ってほしい。	A	・全教員体制で、エンカレッジに来る児童の担当を行い、児童一人一人に寄り添った指導を行っている。	A	・次年度も継続して行ってほしい。	・次年度も継続していく。
	○副籍交流及び協働学習の実施・充実	・特別支援学校の副籍の児童と交流を行う	・毎学期、副籍交流を行う	100%	100%	A	・特別支援学校の副籍の児童と紙面での交流を行った。	A	・引き続き取組を行ってほしい。	A	・特別支援学校の副籍の児童と紙面での交流を行った。	A	・次年度も継続して行ってほしい。	・次年度も継続していく。
不登校・いじめ対応	○不登校対策の実施・充実	・いじめや不登校の未然防止としてアンケートを実施。 ・L-gateを活用して児童理解を進める	・アンケート、日々のL-gateの活用で新たな不登校児童をゼロ	100%	100%	A	・年3回のいじめのアンケートのうち、1回を実施済み。 ・L-gateを活用し、気になる児童には声をかける。	A	・L-gateを活用して、児童のことをよく見てほしい。	A	・年3回のいじめのアンケートのうち、1回を実施済み。 ・L-gateを活用し、気になる児童には声をかける。	A	・いじめを出さないように努力してほしい。	・次年度も継続していく。
	○教育相談の強化	・SC、SSWと保護者・児童の連携強化	・5年生を対象とした全児童の面談を実施。不登校児童のSSWとの連携の強化	100%		A	・SCが5年生の全員面談を実施済み。 ・不登校児童に対するSSWとの連携をしている。	A	・9月以降も不登校児童の対応をお願いしたい。	A	・SCが5年生の全員面談を実施済み。 ・不登校児童に対するSSWとの連携をしている。	A	・SCによる全員面談を継続してほしい。	・次年度も継続していく。

